

本書ではQUOカードPayご利用時に、ハネウェル社製無線バーコードスキャナを使用する際の使い方について説明しています。

ご使用前に本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

1. 箱の中身を確認します

下記のもので全て揃っていることを確認してください。不足しているものや破損品がありましたら、お問い合わせ窓口にご連絡ください。

- バーコードスキャナ本体 1台
- ベースユニット(スタンド) 1台
- USB接続ケーブル 1本
- ACアダプタ 1台



2. 各部の名称と機能



| No. | 名称 | 機能 |
|-----|----------------------|--|
| ① | スキャナLED | 装置の状態を点灯／点滅で通知します。 |
| ② | トリガスイッチ | バーコード読み取り／省電力モードからの復帰時に使用します。 |
| ③ | 読み取りウィンドウ | バーコードデータの入力に使用します。 |
| ④ | ベースユニットLED / 呼び出しボタン | スキャナの状態と充電状態を通知します。 呼び出しボタンを押すと、ペアリングされているスキャナから音がなります。 複数台設置時に、組み合わせがわからなくなった、どこかに置き忘れた場合に押すと探すことができます。 |

3. 各種通知について

(1) スキャナLED

| 色 | ブザー音 | 状態 |
|--|------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 消灯 | — | 何も操作していない又は電源が入っていない。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 緑色点灯 | ピッ | ベースユニットとの通信に成功。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 赤色点滅 | ブブー | ベースユニットとの通信に失敗。各種ケーブルの接続を確認します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 赤色点灯 | — | バッテリー残量が少なくなっている。ベースユニットに置いて充電します。 |

(2) ベースユニットLED



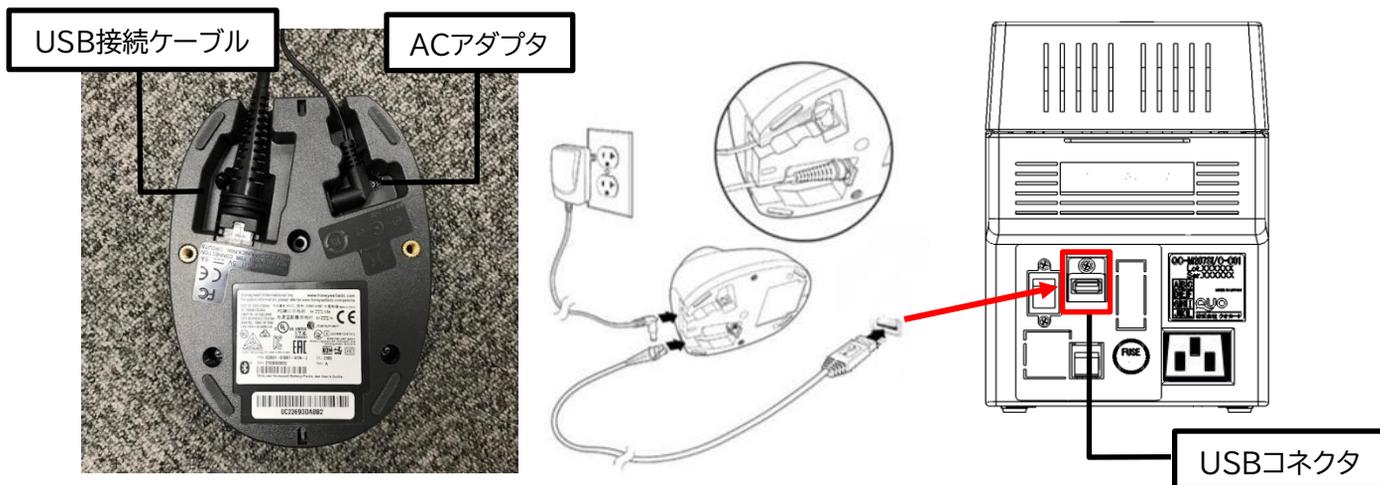
左側の緑色LEDで充電状態を表示

右側の赤色LED点灯で電源ONで通信できていることを確認

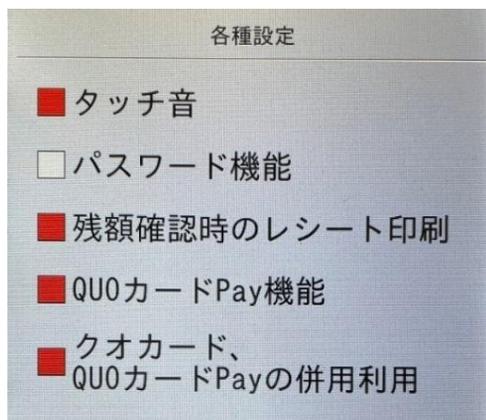
| 緑色LED状態 | 充電状態 |
|---------|--------------------------|
| 消灯 | バッテリーが検出されないか、充電が中止されたとき |
| ゆっくり点滅 | 充電中 |
| 点灯 | 充電完了(満充電状態) |
| 速く点滅 | 充電エラー |

4. 使用を始める前の準備

- (1) ベースユニットを裏返し、USB接続ケーブルとACアダプタを接続します。
- (2) ACアダプタをコンセントに挿すと、ベースユニットの右側の**赤色LED**が点灯します。
- (3) USBケーブルをQUOカード端末背面部のUSBコネクタに接続します。



- (4) スキャナ本体をベースユニットに差し込むと、充電が開始されます。満充電までは最長で約5時間かかりますが、30分程度充電すると使用可能な状態になります。左側の**緑色LED**で充電状態を確認できます(前頁の各種通知を参照)
- (5) QUOカードPayの機能を利用できる設定になっているかの確認を行います。
※既にQUOカードPayをご利用いただいている店舗様は設定不要ですが、各設定がONになっているか念のため確認をお願いします。
- (6) この設定は必ず精算後に実施する必要があります。[先頭メニュー]—[次のページ]—[精算/日次締め]の順にタッチし精算を行います。
- (7) 精算後に[先頭メニュー]—[次のページ]—[次のページ]—[設定]—[各種設定]の順にタッチします。
- (8) [各種設定]画面が表示されるので、[QUOカードPay機能]と[クオカード、QUOカードPayの併用利用]の両方がONになっていない場合は、画面の□をタッチしてONに変更します。「■」がON設定、「□」がOFF設定となります。



QUOカードPayの各設定を
ONにした状態

QUOカードPay機能 をONにすることにより、QUOカードPay機能の利用が可能となり、点検や精算時にQUOカードPayの利用情報が印字されます。
クオカード、QUOカードPayの併用利用 をONにすることにより、クオカードとQUOカードPayの併用利用が可能となります

(9) 既にQUOカードPayの各設定がされていた場合は変更せずに [終了] を押します。

5. 使用方法

- (1) スキャナをベースユニットから持ち上げ、トリガスイッチを引き続けます。
- (2) **バーコードから5cm~15cm程度離して**読み取ります。
スマートフォン等の画面に近づけすぎると読み取りにくくなります。



画面に近づけすぎると読みにくい



5cm以上離して読みます

- (3) 読み取り音が鳴り、バーコードの情報がQUOカード端末へ送信されます。
- (4) バーコードの読み取りが完了したら、スキャナをベースユニットに戻します。



ベースユニットに置いた状態



通常はベースユニットにセットしておき、QUOカードPayのバーコード読み取り時のみ持ち上げて使用します。



読み取りが完了したら必ずベースユニットに戻します。



読み取りに成功すると「ピッ」と音が鳴り、緑に点灯します。

- (5) 自己診断プログラムでバーコードが読めることを確認します。
QUOカード端末の [先頭メニュー]—[次のページ]—[次のページ]—[自己診断]—[機器診断]—[バーコードリーダー] の順にタッチします。

画面のバーコードを読み取り、読取結果OKと表示されれば正しく使用できる状態です。

6. 省電力機能について(重要)

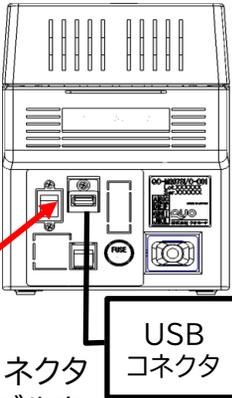
- (1) バーコードスキャナ本体はリチウムイオン電池が内蔵されていますが、電池の劣化を防止するために省電力設定をしています。
- (2) ベースユニットにセットせず、何もしない状態が**約7分間**続くと省電力モードに移行します。
- (3) トリガーを引くと省電力モードから通常モードに戻りますが、バーコードが読めるようになるまで**約15秒ほど**かかります。

ベースユニットへセットした状態では省電力モードへは移行しないので、すぐにバーコードの読み取りが可能です。QUOカードPayでお支払いのお客様を待たせないために、常にベースユニットに戻す運用を推奨します。

7. 安全にお使いいただくために

本機は精密電子機器です。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項に従って正しくご使用ください。

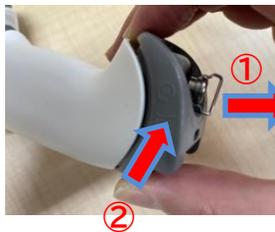
- 高温・多湿となる場所や引火性ガスの発生する場所での使用や放置はしないでください。
- 落下や投げつけなどで、強い衝撃を与えないでください。
- 分解、改造をしないでください。
- 発熱・発煙・異臭などが発生したときは、直ちに使用を中止し、リチウムイオン電池を外してください。
- 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。
- 磁石・ブザー・スピーカー・ブラウン管・RFIDアンテナの近くなど、強い磁界が発生する恐れのあるところで使用、保管しないでください。本体の誤動作・故障の原因になります。
- 蛍光灯、電子レンジなどノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。ノイズの影響により、正常に通信できなくなる場合があります。
- 本機は、電波法に基づく技術適合証明を受けた通信機器を内蔵しています。本機を分解したり、本機の内部に触れることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際は内部の点検等を行わず、お問い合わせ窓口にご連絡ください。

| こんなときには | 原因と対処方法 |
|---|--|
| <p>バーコードをなかなか読み取らない。</p>  | <p>スキャナをバーコードに近づけすぎていると読み取りにくい場合があります。</p> <p>5cm～15cmほど離れた状態で読み取れるか確認します。</p> |
| <p>トリガスイッチを押しても、バーコードの光が照射されるまで時間がかかる。</p> | <p>省電力モードになっている可能性があります。</p> <p>トリガスイッチを1回押して読み取り待ちになるか確認します。使用後にベースユニットに戻す運用にすることで省電力モードに入らなくなります。</p> |
| <p>トリガスイッチを押してもバーコードの光が照射されない。</p> | <p>スキャナーのリチウムイオン電池が充電されていない可能性があります。</p> <p>数時間ベースユニットに置いて充電されるか確認します。 ※ACアダプタが抜けていると充電に時間がかかります。抜けていないかも確認します。</p> <p>ACアダプタを接続した状態で数時間充電しても照射されない場合は、電池の消耗または故障の可能性があります。</p> |
| <p>「ピッ」というバーコードの読み取り音はするが、読み取ったデータがQUOカード端末に転送されない。</p> <p>バーコードを読ませたが、「ブー」とブザー音が鳴りスキャナLEDが赤色に点滅してQUOカード端末に転送されない。</p>  <p>②ACアダプタの抜き差し</p> <p>③USBコネクタからケーブルを抜き差し</p> | <p>USB接続ケーブルが抜けている、または接触不良になっている可能性があります。</p> <p>①ベースユニット裏側を確認し、USB接続ケーブルとACアダプタの両方を一度抜き、接続しなおします。</p>  <p>②ACアダプタをコンセントから外し、接続しなおします。 ③QUO端末のUSBコネクタからケーブルを抜き、接続しなおします</p> <p>※USBケーブルを再接続する場合はQUOカードPayのバーコードをスキャンする「利用」画面が表示されている状態では行わないでください。バーコード内部に保留されていたデータが送信されてしまう可能性があります。</p> <p>接続後15秒ほど待ってからトリガーを引き、バーコードが読めるかを確認します。</p> <p>ケーブルの抜き差しで復旧しない場合は、バーコードとベースユニットのペアリングが解除されている可能性があります。次ページのリセット方法で使用可能になるかを確認します。</p> |

| こんなときには | 原因と対処方法 |
|---|---|
| <p>トリガーを引いていない状態でも読み取りの光が出ている。ベースユニットに置いていても消えない。</p>  | <p>トリガースイッチの設定が自動読取モードになっています。</p> <p>呼び出しボタンを2回続けて押すと読み取りの光が消え、トリガーを引いたときに読み取るスタンダードモードに変わります。トリガーを引いたときだけ光が出るかを確認します。</p>  <p>※2回押しても変わらない場合はUSBケーブル又はACアダプタが抜けている可能性があります。両方のケーブルが正しく接続されているか確認してから呼び出しボタンを2回押します。</p> |
| <p>呼び出しボタンを押したら「ビビビビー」と音が鳴り続けているので止めたい。</p> | <p>音が鳴っているスキナのトリガースイッチを引くか呼び出しボタンを1回押します。</p> <p>呼び出しボタンを押すと、ペアリングされているスキナから音が鳴ります。複数台設置時に、組み合わせがわからなくなったり、どこかに置き忘れた場合に押すと探すことができます。</p> |
| <p>充電は十分にしているが、トリガースイッチを押してもバーコードの光が照射されない。またはトリガーを引いてバーコードの光が点灯するがバーコードを読まない。</p> | <p>ベースユニットに置いた状態でベースユニットLEDが緑色に点灯している場合は充電が完了しています(満充電状態) 満充電でも光が照射されない場合や読まない場合はバーコードが不安定になっています。リセットして使用可能になるかを確認します。</p> |

リセット方法

(1) スキナのエンドキャップ(持ち手部分の底)にあるネジを回して緩めます。



①ネジを完全に緩めてから引っ張ります。

②前側が少し浮いた状態になるので、後ろから押し出すとエンドキャップが外れます。

(2) エンドキャップが外れたら、バッテリーを途中まで引き出してから奥まで戻し、ネジを締めます。

(3) 15秒ほどでバーコードが起動するので読めるかを確認します。

QUOカード端末の[先頭メニュー]—[次のページ]—[次のページ]—[自己診断]—[機器診断]—[バーコードリーダー]の順にタッチします。

画面のバーコードを読み取り、読取結果OKと表示されれば正しく動作しています。

サポートについて

バーコードが読めなくなった、故障かな?と思ったらお問い合わせ窓口にご連絡ください。

お問い合わせ窓口

株式会社クオカード お客様相談室

電話番号:(0120)396-381

加盟店様用24時間受付